

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ
M26-0280H	武居 司	大曾根 匡 先生	サクサク検索 デートプラン自動作成機能の開発 ～知っ得情報機能～

1. 研究目的

3年の男子学生M君は、彼女とのデートプランを立てようとしたが上手くいかなかった。なぜなら、M君はデート初心者であるうえ、アルバイトに忙しくて、デートプランを考える時間もなかったからである。そこで、デート初心者や忙しくてデートプランを考える時間のない人を対象に、自動でデートプランを作成できるシステムを制作したいと考えた。これにより、デート経験の少ない人でも自分の希望するデートプランを立てることができると考える。

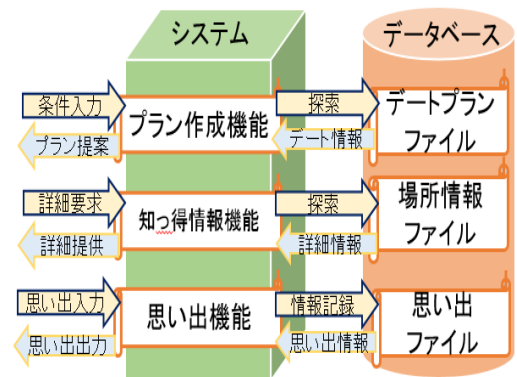


図1 システム概要図

2. システム概要

本システムは、自動でデートプランを作成するシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムにはプラン作成機能と知っ得情報機能と思い出機能をもたせた。筆者は知っ得情報機能と思い出機能の開発を担当した。

(1) 知っ得情報機能

訪れる場所がユーザーの好みに適しているかどうかの知っ得情報を提供する機能である。どんなに良いデートプランでも、デート相手の好みに合うかどうかを確認していなければケンカの原因になる恐れがある。具体的な知っ得情報は、混雑状況、お酒情報などである。その知っ得情報画面を図2に示す。



図2 知っ得情報画面

(2) 思い出機能

楽しいデートができたとしても忙しさからデートの記録をしない人が多い。そこで、ボタン1つでその日のスケジュール、写真、コメントなどを保存させる機能を設けた。その画面を図3に示す。



図3 アルバム画面

3. 実現方法

思い出機能は、思い出ファイルのデータを用い、保存したスケジュール、写真、コメントを出力するようにした。記録した思い出によって、アルバムの見開きが変化する工夫を施した。

4. 研究成果

- (1) デートスポットに関するケンカなどのトラブルを防止できる知っ得情報機能が実現できた。
- (2) デートの記録を簡単に残すことができる思い出機能が実現できた。

5. 残された課題

- (1) 最新のデータと関連付けた鮮度の高い情報を常に提供できるようにしたい。
- (2) アルバムを何度も見返したくなるような落書き機能のような要素を加えたい。

キーワード	デートプラン、スケジュールリング、アルバム、観光政策、支援システム				
種類	システム開発	手法	シミュレーション	データ源	インターネット
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio	使用言語	Visual Basic

